

第4章 第3次知立市食育推進計画(食育推進計画)

1. 第2次計画の評価

(1) 目標達成状況

第2次知立市食育推進計画の策定時に設定した目標項目の達成状況については、統計データやアンケート調査により得られた結果をもとに分析を行い、2024（令和6）年2月に「第2次知立市食育推進計画最終評価報告書」を取りまとめました。

その結果をみると、第2次知立市食育推進計画に掲げた19指標のうち、7項目が「A：達成」もしくは「B：改善」の評価を得ており、これらは全体の36.8%となっています。

■目標達成度の判断基準

判定区分	判定基準
A：達成（目標値に到達した）	目標達成、または達成率 90%以上
B：改善（目標値に到達していないが改善した）	達成率 10%以上 90%未満
C：変化なし（変化がない）	達成率 -10%以上 10%未満
D：悪化（悪化している）	達成率 -10%未満
-：判定不能（判定ができない）	判定不能

※達成率は「（現状値－基準値）÷（目標値－基準値）×100」で算出。

■分野別の評価結果

評価の上段：該当数、評価の下段：各項目に占める割合

基本方針・分野	評価 指標 項目数	評価				
		A 達成	B 改善	C 変化 なし	D 悪化	- 判定 不能
1. 食育で心を育もう	5	2	1	2	0	0
		40.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%
2. 食育でからだを育もう	11	0	3	3	4	1
		0.0%	27.3%	27.3%	36.4%	9.1%
3. 食を取り巻く環境を整えよう	3	1	0	1	1	0
		33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%
合計	19	3	4	6	5	1
		15.8%	21.1%	31.6%	26.3%	5.3%

※割合は小数点以下第2位で四捨五入しているため、合計値が100.0%とならない場合がある。

(2) 分野ごとの評価と今後の方向性

基本目標1 食育で心を育もう

子どもの頃から食に関する正しい理解や望ましい習慣を身につけることを目的に、学校や園、保健センター等を通じて、食育推進活動を実施しています。また、食育の実践につなげていくきっかけづくりとして、健康すごろくを作成し、市民に配付したほか、図書館において「健康と食事」をテーマとした関連本の特集を組んだり、健診等において食育絵本リストを活用した啓発を行いました。コロナ禍では食事会や調理実習の中止が相次ぎ、共食が難しい時期もありましたが、身近な家族や仲間と楽しく食事を楽しむことや、食べ物や食に関わる人に対する感謝の気持ちを育むため、食育だよりや園だより、広報紙等で周知・啓発を行いました。

目標達成状況をみると、家での食事を楽しんでいる小中学生の割合は目標値に達していますが、食育に関心を持っている人の割合は変化なしの評価となっており、効果的な周知方法を検討していく必要があります。

指標ごとの目標達成状況

※実績・目標値は年度の値

評価指標	対象者	実績			目標値 2024 (R6)	評価
		策定時値 2013 (H25)	中間評価 2019 (R1)	現状値 2023 (R5)		
食育に関心を持っている人の割合※ ¹	20～74 歳	75.2%	69.7%	74.1%	90.0%	C
食育を実践している人の割合※ ²	20～74 歳	50.2%	47.5%	57.2%	90.0%	B
家での食事を楽しんでいる人の割合※ ³	小学5年生	89.3%	87.4%	90.9%	90.0%	A
	中学2年生	76.6%	84.4%	83.1%	80.0%	A
市民農園の整備区画数	－	101 区画	101 区画	101 区画	110 区画	C

※1 健康づくりに関するアンケート調査で、「関心がある」と回答した人の割合と「どちらかといえば関心がある」と回答した人の割合の合計。

※2 健康づくりに関するアンケート調査で、「積極的にしている」と回答した人の割合と「できるだけするようにしている」と回答した人の割合の合計。

※3 健康・食育についてのアンケート調査（小中学生）で、「とても楽しい」と回答した人の割合と「楽しい」と回答した人の割合の合計。

今後の方向性

○引き続き保育園や学校を通して食育だより、園だよりをはじめ、様々な機会や方法で情報提供し、子どもの頃から食に関する正しい理解や望ましい習慣を身につけることを促進するとともに、子どもを通じて家庭にも周知を行い、実践につなげていくきっかけづくりを行っていきます。また、ライフステージや生活場面に応じた食育が実践できるよう、食の知識や取組例等について情報提供を行っていきます。

○食育に関心を持つ人や食育を実践している人を増やすため、各機関等と連携し、特に食生活に課題が多くみられる男性や若い世代に対して効果的なアプローチを検討していきます。

○家ででの食事が楽しいと感じている小中学生の割合は目標値に達していますが、中学生になると低くなる傾向にあるため、引き続き家族や仲間と食を楽しむことの重要性を周知し、共食の推進を図っていきます。

基本目標2 食育でからだを育もう

生活習慣病の予防や健康寿命の延伸のためには、若い頃から望ましい食習慣を身につけることが重要となるため、栄養バランスよく食べることや朝食の必要性、必要な食事量を知り、適正体重を維持できるように、広報紙や食育だよりのほか、様々な方法で周知・啓発を行いました。また、給食レシピ集を独自に作成して市民に配布し、朝食の必要性や栄養バランスよく食べることの重要性を伝えました。健康知立（ともだち）マイレージ事業においては、子ども向けのKIDSマイレージを開始し、大人だけでなく子どもも楽しみながら健康づくりができるよう体制を整えました。

しかし、各世代において朝食の欠食や朝食での野菜摂取不足は改善しておらず、一人ひとりの意識が高まるよう、効果的なアプローチ方法を検討する必要があります。

また、よく噛んでいる人の割合については増加していますが、あまり噛んでいない人では肥満の割合が高い傾向にあるため、肥満防止の観点からも咀嚼の大切さについて周知を行っていきます。



食育だより

指標ごとの目標達成状況

※実績・目標値は年度の値

評価指標	対象者	実績			目標値 2024 (R6)	評価
		策定時値 2013 (H25)	中間評価 2019 (R1)	現状値 2023 (R5)		
朝食を欠食する人の割合	園児	3.9%	5.8%	6.3%	0.0%	D
	小学5年生	3.9%	6.8%	5.9%	0.0%	D
	中学2年生	7.0%	7.8%	10.0%	3.0%	D
	20歳代	23.0%	18.2%	29.2%	15.0%	D
朝食に野菜を食べている人の割合※	園児	28.7%	24.6%	21.6% (参考値)	80.0%	-
	小学5年生	36.1%	38.3%	33.8%	80.0%	C
	中学2年生	30.1%	38.8%	31.1%	80.0%	C
	20～74歳	34.7%	31.8%	33.5%	80.0%	C
よく噛んで食べる人の割合	小学5年生	52.9%	58.3%	67.0%	70.0%	B
	中学2年生	33.6%	55.5%	57.3%	70.0%	B
	20～74歳	35.3%	33.2%	47.1%	70.0%	B

※朝食に野菜を「毎日食べる」と回答した人の割合と「週4～6日食べる」と回答した人の割合の合計。母数については、園児は朝食を「毎日食べる」または「ときどき食べる」と回答した人（子どもの生活状況についてのアンケート調査）、小学5年生、中学2年生、20～74歳については、朝食を「毎日食べる」または「週に4～6日食べる」、「週に1～3日食べる」と回答した人（小中学生：健康・食育についてのアンケート調査、20～74歳：健康づくりに関するアンケート調査）。

■今後の方向性

- 朝食の欠食や野菜不足、栄養バランスが偏った食事などの課題がみられるため、食習慣の改善の取組が求められます。幼児期から望ましい食習慣を身につけることが大切であるため効果的なアプローチ方法を検討していきます。
- 睡眠時間が少ない人や就寝時間が遅い人に、朝食を欠食している人が多くみられるため、早寝・早起き・朝ごはんの習慣づけに向けての取組を進めていきます。
- 朝食を食べている人やよく噛んで食べている人は、そうでない人に比べて肥満の割合が低くなっているため、あらゆる機会を活用し、朝食摂取やよく噛むことの重要性を周知していきます。
- 仕事や子育て等に忙しい世代では、準備等に時間がかかるため、朝食で野菜が摂取できないといったことも考えられるため、手軽にできる野菜の摂取方法等について啓発を行っていきます。

基本目標3 食を取り巻く環境を整えよう

知立市においては、食育ボランティア団体である「食育知立（ともだち）の会」が地域の食育推進の担い手として保育園を巡回し、エプロンシアターや食まる体操を通して「早寝・早起き・朝ごはん」や、好き嫌いなく食べることの大切さを伝えるなどの活動を行っています。市では「食育知立（ともだち）の会」の会員養成講座の開催のほか、団体のPR活動の支援を行っていますが、会員数は減少傾向にあります。

地産地消の環境づくりとしては、小中学校の給食において、知立市産や愛知県産の食品を多く使用した料理の提供や、市内飲食店で地産地消の給食を再現したメニューの提供を推進するなどの取組を実施してきました。しかしながら、愛知県産のものを意識して購入する人の割合は最終評価では変化なしとなっているため、引き続き様々な機会を活用した啓発が必要になっています。



食育知立（ともだち）の会
による保育園巡回

■指標ごとの目標達成状況

※実績・目標値は年度の値

評価指標	対象者	実績			目標値 2024 (R6)	評価
		策定時値 2013 (H25)	中間評価 2019 (R1)	現状値 2023 (R5)		
食生活改善推進員（現：食育知立（ともだち）の会会員）の人数	-	35 人	28 人	23 人	40 人	D
学校給食における愛知県内産の食材利用率	-	39.5%	55.1%	48.1%	45.0%	A
愛知県産のものを意識して購入する人の割合	20～74 歳	32.8%	28.2%	33.5%	55.0%	C

■今後の方向性

- 食育知立（ともだち）の会会員は減少傾向にあるため、活動のPRを充実させるなど、会員の確保に向けて更なる支援を行っていくとともに、会員の活躍の場の充実にも取り組んでいきます。
- 食の持続性の観点から、地産地消や食品ロス削減に対する市民の意識を向上させるために、様々な取組を実施していきます。